

くすりのしおり

内服剤

2015年7月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：アルケラン錠 2mg

主成分：メルファラン（Melphalan）

剤形：白色の錠剤、直径 6.5mm、厚さ 3.5mm

シート記載：



この薬の作用と効果について

この薬は、異常細胞の DNA 合成開始を抑制することにより、その増殖を抑制します。

通常、多発性骨髄腫に伴う腰痛や全身のだるさなどの自覚的症状、貧血、血小板減少や腎障害などを改善します。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。白血球数または血小板数が減少している。放射線による治療を受けている。感染症がある。尿毒症である。腎障害がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** ：医療担当者記入
- ・ 通常、1回 1～2錠（主成分として 2～4mg）を 1日 1回連日服用します。
または 1回 3～5錠（主成分として 6～10mg）を 1日 1回、4～10日間〔総量 20～30錠（主成分として 40～60mg）〕服用し、休薬して（通常 2～6週間）1日 1錠（主成分として 2mg）の服用を続けます。
または 1回 3～6錠（主成分として 6～12mg）を 1日 1回、4～10日間〔総量 20～30錠（主成分として 40～60mg）〕服用し、休薬して（通常 2～6週間）同様の服用法を繰り返します。
なお、服用中は頻回に血液検査が行われ、その結果により適宜増減または休薬されます。また、治療を受ける疾患や年齢により適宜増減されますので、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は気がついた時に 1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に 1回分を飲んでください。絶対に 2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 服用中は頻回に血液検査が行われます。その場合には指定された日時に検査を受けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、食欲不振、吐き気、嘔吐などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 全身倦怠感、のどが痛い、鼻血〔骨髄抑制〕
- ・ 顔面がまっさおになる、呼吸困難、蕁麻疹〔ショック、アナフィラキシー様症状〕
- ・ 食欲不振、吐き気、皮膚や結膜などの黄染〔重篤な肝障害、黄疸〕
- ・ 発熱、から咳、呼吸困難〔間質性肺炎、肺線維症〕
- ・ 疲れやすい、動悸、発熱〔溶血性貧血〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、湿気を避けて冷蔵庫の冷蔵室などに保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。